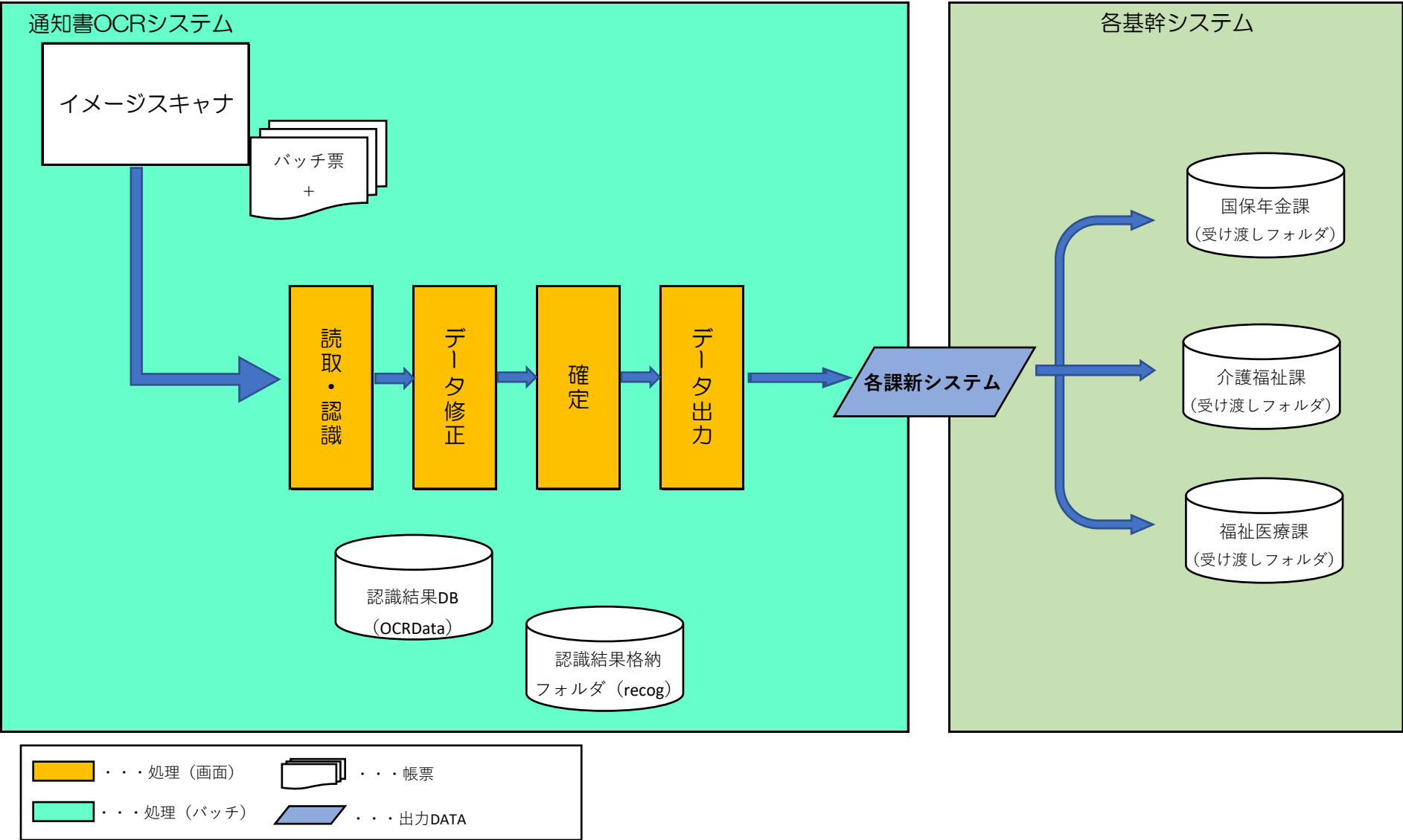


1. システムフロー

1. 1 フロー図



1. 2 フロー概要

前提条件

ファイルサーバへの格納は、フォルダ共有（フルアクセスもしくは、読み書き可能なユーザ情報をいただけること）とする。

（１）通知書読取／認識

奈良市領収済通知書OCRシステムPCに接続されたイメージスキャナにて申込書の読取りを行い、奈良市領収済通知書OCRシステムPC内の認識作業フォルダ（recog）へ通知書画像ファイルを配置する。画像形式は、シングルページTIFF とする。

認識作業フォルダへ格納された画像ファイルに対し認識処理を行い、未確定データとしてDB登録する。

※認識処理時に、帳票リジェクトエラーが発生した場合は、修正画面を表示し、強制的にデータ入力するよう促す。

（２）未確定データの修正

（１）の未確定データを開き、内容を確認する。

データ修正の必要性がある場合は、修正画面で開き、認識結果内容を修正する。また、不要であれば削除する。

（３）未確定データの確定

（２）の未確定データ（認識済）を確定する。

未確定データ（認識済）を確定データとしてDB登録する。

（４）確定データの転送

顧客管理システム向けのIFファイル（CSV）を作成し、ファイルを送信する。

また、同時にファイルサーバへファイルをバックアップする。

送信対象とするデータは、確定データでかつ、未出力のものとする。

2. 機能概要

2. 1 奈良市領収済通知書OCRシステム機能概要

システムの機能範囲を以下とする。

No	画面	機能	機能概要	備考
1	メインメニュー	メインメニュー	各種画面への遷移を行う。	
		担当部署／業務名選択	読取を行う帳票を選択するため、「担当部署」→「業務名」の順で選択する。	
		帳票読取	担当部署／業務名を選択後、読取ボタンを押すことで、スキャンとOCR認識を行う。	fiシリーズのスキャナが接続されることを前提とする。
		確認	データ確認一覧画面へ数値する。 ※帳票読取後、バッチ単位でメインメニュー中央部に表示される。	
		データ出力	各システム向け出力データを生成し、サーバへ送信する。	
2	データ確認一覧	修正	OCR処理後に、データ修正画面に推移する。	
		確定	修正したデータの確定処理を行う。	
		削除	読取したデータの全件削除を行う。	
3	データ修正	帳票名	帳票種別を変更する場合に、リストより選択する。	
		認識結果	OCR認識の結果データの確認・修正を行う。	
		修正	データ修正後確定を行う。	
		削除	データ修正画面で選択されているデータを削除する。	
4	データ出力一覧	業務名	出力する業務を選択する。	
		OCR処理票発行	処理完了後に処理票を発行する場合にチェックを入れる。	
		全選択／全選択解除	出力するデータを全選択／全選択解除する。	
		データ出力	データを各業務サーバに出力する。	出力先や方法は、OCRData.mdbに定義する。

2. 2 奈良市領収済通知書OCRシステム画面遷移

